



# YUI NOTE

2024 秋号 NO.1

あづま館 & 二本松の情報をおとどけ！

## BAKERY

食欲の秋に  
Umeii Bakery

## NIHONMATSU

特別展示で  
芸術の秋に触れよう  
伝統を守る  
～にほんまつの提灯祭り～

## 館内施設

地元の酒蔵から秋のオススメ  
美肌の湯の秘密



Umeii Bakery & cafe ⌚ 9:00～17:00



Adubaru Shop ⌚ 8:00～20:00



Dake Diner ⌚ 11:00～13:30  
LO.[13:00]

大きなクロワッサンが目を惹く館内のベーカリーは、メゾンカイザーに監修いただき天然酵母と発酵バターを使用。温泉街に面した立地により宿泊のお客様以外にもお買い求めやすくなっております。

福島県内で発酵食品や素材を使用した商品と、Sauna Soppiではサウナグッズやサウナアロマの香りのボディケア商品など生活雑貨も取り揃えています。

ランチ営業中です！天麩羅御膳やラーメン、日替わりメニューもございます！夜は宿泊プランにて福島県産のお肉等を使った「焼肉」を営業しております。



日本酒酒蔵角打Bar「Kula」 ⌚ 8:00～20:00

## AZUMAKAN NEWS

館内情報と  
温泉について発信いたします



足湯暖炉。 ⌚ 営業時間  
6:00～22:00

源泉掛け流しの足湯はどなたでも自由にご利用いただけます。日中は散策の休憩に夜は間伐材を使った暖炉の火を見ながらゆっくりとしたひと時をお楽しみ下さい。

生蔵造り 今回は「大七酒造」から秋のオススメをご紹介します！

二本松市竹田町にある「大七酒造」は、2008年北海道洞爺湖サミットにおいて、公式晩さん会の乾杯酒に純米大吟醸酒が採用された福島県が誇る蔵元です。壮麗な現代風蔵の入り口には、二本松市ゆかりの彫刻家 橋本堅太郎氏の狛犬が睨みをきかせています。



「純米生酴 生詰め」  
日本酒度+3

日本酒の王道、大七純米生酴を“生詰め”で蔵出しいたします。夕べの涼風が心地よい初秋には、冷やおろしのまるやかで爽やかな香味を、木枯らし吹く晩秋から冬にかけてはたっぷり熟成した生酴の醍醐味をお愉びください。

—おすすめの料理—  
秋刀魚の塩焼きすだちを添えて・鮭のクリームシチュー・きのこのバターソテー

### 二本松の地酒

二本松は良質な米の産地であり、霞ヶ城公園内にある日本三井のひとつ「日影の井戸」で知られるように名水の地でもあったため古くから酒造業が栄えました。高村光太郎の「智恵子抄」で有名な智恵子の生家もまた、当地に古くから伝わる蔵元でした。

※「日本三井」…千葉県印西市「月影の井」・神奈川県鎌倉市「星影の井」・福島県二本松市「日影の井」

### -- 酸性泉. 美肌の湯の秘密 --



⌚ 12:00～20:00  
(最終受付 19:30)

※水・土曜日は  
営業時間を変更しております。

岳温泉の湯は全国で温泉地の割合からいえば非常に珍しい泉質をしています。酸性泉には「メタケイ酸」という成分が含まれていて天然の保湿成分と呼ばれています。その理由は3つあり

1. 新陳代謝をUPさせて肌のターンオーバーにより新しい健康的な肌を維持
2. 肌を乾燥から守るセラミドの生成を助けてくれる
3. 肌や髪を生成するのに必要なミネラルの成分「ケイ素」が含まれています

酸性泉と聞くとピリピリするイメージを持たれますが、岳温泉は湯本から8kmの引き湯による自然の湯のみで湯が柔らかくなって温泉効果をさらに堪能できます。岳温泉は、日常の喧騒から離れ、心身ともにリフレッシュできるこの場所で、素晴らしいひとときを過ごしてみたいかがでしょうか。

あづま館  
福島県二本松市岳温泉 1-5  
0243-24-2211  
https://azumakan.com/

あづま館



—公式アプリ誕生—



# 伝統を守る



「紡がれて来た提灯の灯りに  
街の人々の想いを見る」

二本松藩の城下町として栄え、現在約5万5千人が暮らすこの二本松で約370年続く伝統的なお祭りが、今年も10月5・6・7日の3日間開催されます。

福島県重要無形民俗文化財であり、日本三大提灯祭りのひとつである《二本松神社例大祭・二本松のちようちん祭り》は、この地の人々に長年受け継がれ大切にされてきた、いわば二本松の秋の代名詞の一つです。

開催時期は金木犀が香り始める10月の第1土曜日から3日間。【太鼓台】と呼ばれる七台の山車が市内を練り歩き、夜間は《二本松神社のかがり火》を基に、1台につき約300個の提灯が灯されます。

実際にこの祭りを見て実感するのは、美しさはもとより、人々の想いの「迫力」でしょう。

それもそのはず、祭りの主な運営は「若連」と呼ばれる各地域の若者達が行っていて、その大半がその町で育ち、その町で祭りを守ってきた人達です。

現在は少子高齢化や若者の流出などもあり、外部からの志願者の参加も認めている町もありますが、町や祭りに対する強い思いが音色や躍動となって表れています。

各町内、小学生から若連（小若）に参加していて、子ども達は「小太鼓」を、大人になると「大太鼓」や「笛」、屋根に上がりお囃子を盛り上げたりなど、幾年も脈々と伝統が受け継がれています。

二本松出身 あづま館スタッフが教える  
「ここが通な見どころ!」

現在太鼓台を有する地区は  
七町(本町、亀谷、竹田、松岡、根崎、若宮、郭内)。  
それぞれの【太鼓台】ごとに装飾や囃子の曲調、に違いがあり、町ごとに見せ場があります。

**-1日目-**  
宵祭り-七町合同曳き回し- 二本松駅前  
3日間唯一、七つの太鼓台が一同に揃う日です!  
是非見て頂きたい箇所が、  
【本祭り】の終着点JR二本松駅前(23:30ごろ)です。  
終了時刻になり、七台の奏でる【囃子】が一斉に止む瞬間は、何とも言えない感とした空気が流れます。

**-2日目-**  
【本祭り-宇回り-】根崎  
2日目の日中、【本祭り】では例大祭中で最も重要な【神輿渡御(みこしとぎょ)】と言う、お神輿による練り歩きが行われます。  
【本祭り】が終わり、太鼓台が各自の町へ戻った夜、今度は提灯を付け各家庭の前を練り歩く【宇回り】が行われ、【神輿渡御】が無事終了行われた事を町の人々に知らせます。  
二本松駅前から最も距離が離れている【根崎】は比較的街灯が少なく、提灯が闇夜に燦々とき映え一層幻想的な空間を体験できます。

**-3日目-**  
【宵祭り-三町合同曳き回し-】  
二本松神社側の四町、霞ヶ城側の三町に別れ曳き回しを行う3日目。  
ここで見ておきたいのは!  
【三町合同曳き回し 出発式】と【四町合同曳き回し 解散式】です。  
出発式は霞ヶ城の正門脇で行われます。  
霞ヶ城の石垣を背にした三町の山車が街中とはまた違った雰囲気で見ることが出来ます。  
解散式は、若宮1丁目の交差点で3日間の最後を飾ります。  
はず向かいに向き合った四町の山車が順番に囃子を奏で、祭りを締めくくります。

祭典期間中  
GPSを使った  
太鼓台  
位置情報  
サービス

2024年3月28日  
陽日の郷あづま館に  
Bakery & Cafe  
「Unitebakery」が誕生しました。

銀座の老舗ベーカリーのご子息である、木村周一郎氏と世界二十カ国でベーカリーを展開するフランス人のエリックカイザー氏が、日本で展開しているメゾンカイザー監修店では福島で初店舗です。仙台のメゾンカイザーから種を分けていただいた、ルヴァン「天然酵母」とカイザートラディショナルというメゾンカイザー独自の「小麦粉」を使い、オープン前には木村氏が直接当社スタッフが技術指導していただきました。



## たまに行くあづま館でなく 毎日のあづま館を目指して

おすすめはなんといってもクワッサン! 初めとんどが言われたお客様のもと、大ききだけでなく小麦の風味と何層にも重なるパターのサクサク食感をぜひご体験ください。

その他、1日限定10食の「旅館だし巻きサンド」や食パンと同じ生地を油で揚げ、さとうきびの砂糖をまぶしたシンプルな「岳のドーナツ」を片手に温泉街を散策してみたいかがでしょうか。併設のカフェでお飲みものと一緒に、館内のテラスや施設を利用してイートインも可能です。

宿泊のお客様にはお店と同じ大きさでのクワッサン、他、ルヴァンブレッドなど焼きたてのパンを朝食でご提供しております。

ペーカリーの他にも二本松の地酒だけを取りそろえた日本酒酒蔵角打Bar「Kula」や福島の発酵食品や素材を使ったお土産をそろえたセレクトショップ「Aubhan Shop」など楽しい空間をご用意しております。

皆様お気軽にお越しください。



## 開館15周年記念特別企画展 大山忠作襖絵展 ～成田山新勝寺襖絵『日月春秋』～



故郷で一般公開

JR二本松駅前 二本松市民交流センター内に  
ある大山忠作美術館では、今秋、成田山新勝寺光輪閣襖絵『日月春秋』全二八面を一室に展示いたします。

『日月春秋』は日輪・月輪・三春の滝(春)・高湯の楓(秋)が構成され、春と秋の面では、ふるさと福島県の自然美が舞台となっておりです。

襖絵は、弘法大師一五〇年御遠忌に当たり記念事業で作られました。千葉貞成成田市の成田山新勝寺に奉納以來、門外不出で一般公開していない襖絵は、大山画伯が2年の歳月を掛けた大作です。

この機会にぜひ、故郷の二本松でしか見ることのできない大山忠作の代表作を、一度ご覧になることをお勧めします。

場所：大山忠作美術館  
期間：10/1～11/17  
時間：9:30～17:00  
(入館は16:30まで)

【料金】  
一般 800円(団体700円)  
高校生以下は400円(団体300円)  
【割引】100円引  
寿人形・にほんまつ城隈館・智恵子記念館入館チケット提示



当館にも大山画伯が鯉を描かれたリトグラフがあり展示しております。



故・大山忠作氏 (1922～2009)

二本松市出身で文化勲章受章の日本画家。岳温泉には画伯の絵を二本松市ゆかりの彫刻家橋本堅太郎氏の彫刻による「十二支」があり、その石柱をめぐる「十二支巡り」があります。画伯がご健在のころはよく当館にご滞在され、静かにお酒を飲まれていたのが印象的でした。

## 受け継がれる



## 「菊の祭典」



二本松には藩政時代より菊の愛好者が多く、昭和初期から菊人形が街に飾られていました。その後、昭和三〇年から趣向を変え、現在の「菊の祭典」として霞ヶ城公園を会場に、華しく開かれるようになりました。現在は、毎年一〇月中旬から十一月下旬に開催し今年「紫式部」をテーマに艶やかな菊の花と、色づく紅葉が会場全体をうめつくす日本最大級の菊の祭典として、観光客を魅了し続けています。



場所：霞ヶ城公園  
期間：10/10～11/20  
時間：9:00～16:00

【料金】  
一般 900円(団体800円)  
中学生以下は無料  
【駐車場】無料

## 菊人形の作り手に インタビュ

長年菊の栽培を手掛けるプロフェッショナル、生産者の本田さんにお話を伺いました。

菊の栽培は1年を通して行います。菊という花は、非常にデリケートで、近年の猛暑で生育が良くないと本田さんは語ります。

二本松の菊人形を象徴するのが「千輪咲」です。1本の茎から1000個以上の花を咲かせる芸術作品。この菊を手掛けるのは日本でも3人だけ、本田さんもその一人です。

菊人形の期間は約1か月半、その間に早咲きの花から遅咲きの花へと咲く品種を調整し花の差へ替えを行なっています。菊の花は、見る人を魅了し心を豊かにしてくれます。

「愛情を込めて育てた菊を多くの人に見てもらいたい」と本田さんは願っています。



今年も菊人形アンバサダーとして「福島美少女図鑑」の牧田優花さんと遠藤菜さんが就任されました。菊人形の周知や市内外での観光行事に参加し、日本の美を盛り上げます。

お二人は、あづま館ホームページでもコラボしており

福島美少女図鑑  
福島のサウナ  
福島美少女図鑑  
福島美少女図鑑のページで紹介しております。あづま館も一緒に菊人形を盛り上げていきたいと思っております。